



WEF は、気候変動対策として数百万匹のペットの犬猫を屠殺することを望んでいる

[WEF Wants To Slaughter Millions of Pet Cats and Dogs To Fight Climate Change \(rumble.com\)](https://www.rumble.com/WorldEconomicForum/WEF-Wants-To-Slaughter-Millions-of-Pet-Cats-and-Dogs-To-Fight-Climate-Change)
公開 2022 年 12 月 9 日

世界経済フォーラム（World Economic Forum）は最近、動物保護活動家を憤慨させるような新しい構想を打ち出し、物議をかもしている。

世界経済フォーラムは、現在までに世界中で何百万匹もの猫や犬を屠殺し、肉を食べることによって生じる「二酸化炭素排出量」を削減するよう呼びかけています。

WEF は、主要メディアに対して、この物語を推し進め始めるように命じており、ペットの飼い主の大多数が動物を安楽死させることを義務づける国際政策を導入しようとしている。

グローバリストのアジェンダを押し進めるのに常に最前線にいる CNN は、気候変動と戦うためにペットを餓死させるよう視聴者に促し始めました。

CNN は最近、ウェブサイトに「[私たちのペットは気候問題の一部です。これらのヒントは、二酸化炭素の排出を最小限に抑えるのに役立ちます。](#)」と題する記事を掲載した。この記事の中で、CNN のリベラルなサディストたちは、多くの家庭のペットが肉を多く食べることによって、地球温暖化ガスが大気中に放出されていると主張しています。

Our pets are part of the climate problem. These tips can help you minimize their carbon pawprints

By Kimberly Richardson, CNN

Updated 4:05 PM EDT, Tue September 27, 2022



責任あるペットの飼い主は、地球のために親友をカメと交換すべきです。「ヘビやカメ、爬虫類は、本当に影響が少ないのです」と CNN は提案します。

クラウス・シュワブ氏が将来的にペットを飼うことを許可すれば、あなたの子猫やワンちゃんもあなたと同じように虫を食べなければならなくなるでしょう、と CNN は説明します。

グローバル・エリートの子供であるブルームバーグも同時にこの流れに乗り、ペットの飼い主に、インフレと戦うためにペットを死なせるよう促しています。

ハリウッドの有名人エマ・トンプソンはさらに踏み込んで、いわゆる気候危機を乗り切るために自分のペットを食べるようにとペットの飼い主に勧めています

この政策案に対して、動物愛護団体やペットの飼い主たちは、非倫理的で不要な政策だと憤慨しています。また、このような思い切った決定をする前に、ペットの飼い主との協議が行われなかったことを懸念する声も多い。

こうした反発にもかかわらず、WEF は、世界中のペットの数を減らすことが、過剰繁殖による地球温暖化などの環境問題の軽減につながると考えており、この措置は必要であると主張しています。また、この政策は、ペットがネグレクトや虐待を受けることがないようにするため、動物虐待の減少にもつながるとしている。

また、WEF は、この構想がどのように提案され、開発されたのか、その透明性の欠如についても非難を浴びています。ペットを安楽死させることが環境に良い影響を与える、あるいは動物虐待と闘うことになるという根拠はまだ示されていないのです。

しかし、最近の WEF の政策に注目していれば、これが本当に世界を救うためのものではないことに気がつくはず。WEF の政策に共通しているのは、私たちの人間性を奪い、劣化させ、あざ笑うということです。彼らは人生の喜びをすべて奪い、最大の苦痛を与えるように設計しています。

人類に肉をあきらめさせ、虫やコオロギで生活するよう強制するキャンペーンが良い例です。ある WEF の関係者は、それが「人間の魂を打ち砕く」ことであると実際に認めています。

魂を吸い取られるような絶望と疎外感に対処する方法として、迫りくるディストピアでなぜ農民がペットとの交流を許されるのでしょうか？それは「**効果がなく、潜在的に有害な**」**精神医学的抗うつ薬**のためのものです、馬鹿げています。

それから、長い間陰謀論だった過疎化計画が、今では完全に表に出てきています。彼らはもうそれを秘密にしようともしていません。

WEF の 2 人の手下によれば、宗教は「より多くの魂」を求め、WEF は「地球上のより少ないもの」を求めているので、すべての宗教団体は世界経済フォーラムに反対しているのだと言います。

どの時点で、我々は立ち止まり、「もういい」と言うのでしょうか？世界が立ち止まって耳を傾けるまでに、世界経済フォーラムは何度その不吉な意図を宣言しなければならないのだろうか？

クラウド・シュワブの右腕であるユヴァル・ノア・ハラリは、静かな部分を声高に言ってきた歴史があり、先週、多くの人が長い間疑ってきたことを認めました。

新刊を宣伝していたハラリによると、**21 世紀の大きな政治的問題は、「何のためにこれほど多くの人間が必要なのか」ということだと言います。**

そして、ユヴァル・ノア・ハラリが人類に対する彼らの計画について口を滑らせたのは、これが初めてではありません。彼は最近、WEF が人類の大多数を時代遅れで役立たずで余分な存在と考えていることを明言しました。

WEF のアドバイザーは、「一般大衆」の間に広がる不安は、「賢い人々」によって運営される未来に「取り残される」ことへの恐怖に根ざしたものだと言いました。

エリートを代表して「私たちはあなた方の大多数を必要としていない」と確認したハラリによれば、そうした懸念は正当化されます。

もちろん、主流派は世界経済フォーラムに取り込まれているので、これらの問題についてあえて意義を唱えれば、彼らはあなたを打ち消そうとします。2020 年の主流派によれば、肥満は健康的であり、ワクチンによって人々が倒れて死ぬことはない。そして、中絶は愛です。

ジョージ・オーウェルは、このような時代について私たちに警告しました。彼は、戦争は平和であることを私たちに納得させるだろうと言いました。彼はどれほど正しかったことか。

今、彼らはペットの安楽死が動物虐待を減らす方法であると私たちに信じ込ませようとしています。

この論争の的となる政策が世界中の国々で採用されるかどうかは、時間が経ってみないとわかりませんが、ひとつだけ確かなことは、ペットの飼い主が戦わずして諦めることはないだろうということです。

そして、そうであってはなりません。

世界経済フォーラムは、世界の人々に対して「グローバル・エリートに主権を渡すか、さもなければ死を迎えるか」という冷ややかな警告を発してきた。

億万長者と政治家のこの権力に飢えた陰謀団は、長い間大衆を奴隷にしようと企んできたが、今、彼らは動き出した。

もし、彼らの要求に従わなければ、私たちは確実に破滅に直面すると、WEF は警告している。エリートに自由と自治権を渡すことでしか、目前に迫った破局を回避することはできないと主張しているのです。

しかし、ますます多くの人々が、WEFの専制的な要求に服従することを拒否しています。勇敢な活動家や反逆者たちが、グローバル・エリートに反撃するために立ち上がり、どんな犠牲を払ってでも自分たちの主権を守り、家族や愛する人たちを守ろうと決意しています。

あなたは彼らと共に自由のために戦うのか、それとも恐怖に竦み上がってグローバル・エリートの要求に服従するのでしょうか？選択はあなた次第です。しかし、何をするにしても、自分の選択がもたらす結果を過小評価しないでください。

もしあなたが立ち上がって戦うことを選ぶのであれば、仲間になることを歓迎します。暗く孤独に感じることもあるでしょうが、大衆は目覚めつつあり、エリートは思ったほど簡単に乗っ取ることはできないでしょう。主流派があえて触れないようなニュースを共有し続けるために、このチャンネルに「いいね!」と「購読」をお願いします。そして、このビデオを、あなたが真実に耳を傾けてくれそうな人にシェアしてください。強く生きてください。私たちはこの戦いに勝利します。